

令和8年8月3日

公 告

長瀬産業健康保険組合
理事長 和久田 利夫



令和7年度事業報告、収入支出決算、並びに財産目録について

令和7年度事業報告、収入支出決算並びに財産目録について
令和8年7月23日開催の第144回組合会において承認されましたので、
別紙のとおり、公告します。

以上

令和 7 年度 事業報告書

令和 7 年度は、第 3 期データヘルス計画の 2 年目であり、また第 4 期特定健診・特定保健指導 6 ヶ年計画でも 2 年目でした。

昨年に引き続き、第 3 期データヘルス計画の重点課題である「医療費の抑制」、「がん等の高額な医療費の適正化」、「メンタルヘルス対策」に着目した保健事業を実施しました。

保険給付費においては、昨年と比較して 9.1%、金額ベースで約 1 億 3,200 百万円増加しました。この保険給付費増加の主な要因としては、外因性損傷、血液・免疫障害、神経系疾患、ならびに悪性新生物における保険給付費の伸長があげられます。令和 2 年度から令和 6 年度における過去 4 年間の平均伸び率（平均 1.2%）と比較しても、令和 7 年度の伸びは、一時的とはいえ突出しております。

今後の財政への影響を踏まえ、令和 8 年度はその動向を注視してまいります。

医療費の抑制・適正化対策として加入者向けに「けんぽニュース」を 4 月、10 月、1 月の年 3 回、「こころの元気レター」及び「からだの元気レター」をそれぞれ毎月、年 12 回配信し、3 月には「ご家族の健診のご案内」、6 月には「保健事業のご案内」を自宅へ送付しました。

個人向けポータルサイトのマイヘルスウェブには、「医療費のお知らせ」、「ジェネリックの差額通知」、「健診結果」といった健康情報や、「ウォーキング大会」、「家庭用常備薬斡旋事業」など、イベント情報を定期的に掲載しました。

これらの連絡事項やイベントに関してはマイヘルスウェブの他に健康保険組合ホームページ、社内グループポータル、フロアサイネージを活用し周知に努めました。

事業所との連携強化及びコラボヘルス推進を目的とした「健康管理事業推進委員会」を令和 7 年 10 月 28 日に開催し、23 事業所から計 43 名の担当者に参加いただきました。

また令和 8 年 3 月 26 日には「事業所担当者講習会」を開催し、24 事業所から計 53 名の担当者に参加いただき、保健事業の内容や現状、法改正等について説明し情報共有を行いました。

その他に厚生労働省から届く各事業所の「健康スコアリングレポート」、日本生命から届く「事業所別分析レポート」を共有し、各事業所の保健事業の推進をサポートしました。

事業所でのメンタルヘルス講習会費用の補助金やプライバシーを守りながら無料で相談できるファミリー健康相談や面接相談窓口の案内文を送付し、その内容を周知することで疾病予防として備えました。

以上

令和 7 年度 収入支出決算

1. 一般勘定

(1) 被保険者数の異動 (年間平均)

	男	女	計
R7 年度実績	3,543 人	1,647 人	5,190 人
R6 年度実績	3,470 人	1,558 人	5,028 人
R5 年度実績	3,484 人	1,514 人	4,998 人

被保険者計は、前年から 162 人増加した。

(2) 被扶養者の異動 (年度末)

	被扶養者数	被保険者一人あたりの被扶養者数（扶養率）
R7 年度実績	4,408 人	0.84 人
R6 年度実績	4,413 人	0.88 人
R5 年度実績	4,536 人	0.91 人

被扶養者数は、厚生労働省の指導に基づいて毎年「被扶養者の見直し」（検認）を 9 月に実施し、適正な認定に努めている。

被保険者一人あたりの被扶養者数は 0.04 人減少した。

(3) 平均標準報酬月額 (年間平均)

	男	女	計
R7 年度実績	540,051 円	375,542 円	488,805 円
R6 年度実績	527,951 円	363,981 円	478,239 円
R5 年度実績	515,588 円	352,791 円	467,263 円

育児休業期間中の保険料免除対象者分を除く。

平均標準報酬月額は、男女ともに前年に対して増加となり、合計で 10,566 円増加した。

(4) 標準賞与額

(年間合計)

	総標準賞与額	賞与月数
R7 年度実績	11,641,434 千円	4.65 ヶ月
R6 年度実績	10,598,084 千円	4.46 ヶ月
R5 年度実績	10,133,104 千円	4.39 ヶ月

育児休業期間中の保険料免除者に係る賞与を除く。

賞与月数は前年から 0.19 ヶ月増加した。

(5) 保険料率

一般保険料率は 85.00‰で、前年からの変更はなかった。

(6) 収支状況 (単位：千円)

	総収支		
	収入	支出	差引残高
R7 年度実績	3,595,072 千円 (3,490,875 千円)	3,348,102 千円	246,970 千円
R6 年度実績	3,655,306 千円 (3,275,036 千円)	3,340,403 千円	314,903 千円
R5 年度実績	3,395,686 千円 (3,168,808 千円)	3,311,061 千円	84,625 千円

① 収入 (カッコ内は保険料収入のみの金額)

収入は前年と比べ 60,236 千円減少しているが、これは昨年度、繰入金を 278,597 千円繰入れたが、今年度は繰入金を入れなかったためである。

収入の主となるカッコ内の健康保険料収入に限ってみれば、平均標準報酬月額、賞与支給月数が上がったことで前年より 215,839 千円増加した。

② 支出

支出は、前年より 7,699 千円増の 3,348,102 千円となった。

令和 7 年度の差引残高の 246,970 千円は、財政調整事業繰越金の 169 千円を除く、246,801 千円を別途積立金として積み立てる予定。

2. 介護保険

(1) 被保険者数の異動

(年間平均)

	第2号被保険者	第2号被保険者たる被保険者数 (保険料を支払う被保険者数)
R7年度実績	4,256人	3,183人
R6年度実績	4,157人	3,074人
R5年度実績	4,189人	3,064人

第2号被保険者たる被保険者は、前年から109人増加した。

(2) 年間標準報酬月額及び標準賞与額

(年間平均)

	標準報酬月額	総標準賞与額	賞与月数
R7年度実績	533,408円	7,505,178千円	4.50ヶ月
R6年度実績	525,300円	6,927,675千円	4.36ヶ月
R5年度実績	512,769円	6,649,577千円	4.29ヶ月

育児休業期間中の保険料免除者に係る賞与を除く。

標準報酬月額は、前年から8,108円増加した。

賞与月数は、前年から0.14ヶ月増加した。

(3) 保険料率

介護保険料率は17.00%で、前年からの変更はなかった。

(4) 収支状況

	総収入	総支出	差引残高
R7年度実績	473,162千円	417,767千円	55,395千円
R6年度実績	476,810千円	469,826千円	6,984千円
R5年度実績	463,310千円	460,987千円	2,323千円

介護保険料収入では、前年より3,648千円増加の473,162千円となった。

支出は、前年より52,059千円減の417,767千円であった。

差引残高の55,395千円は、法定準備金として積み立てる予定。

以上

長瀬産業健康保険組合財産目録

令和7年度末現在

1. 一般勘定

種 別		数量	金額又は価格	備 考
準備金	金員	銀行預金	534,798,231 円	定期預金、普通預金
		決算残金処分	0 円	
		基金委託金	16,854,000 円	大阪府社会保険診療報酬支払基金
		計	551,652,231 円	
別途積立金	金員	銀行預金	1,604,632,323 円	
		決算残金処分	246,504,754 円	
		計	1,851,137,077 円	
退職積立金	金員	銀行預金	0 円	
その他の資産		土地	0 円	
		建物	0 円	
		備品	0 円	
		その他	0 円	
		計	0 円	
合 計			2,402,789,308 円	

2. 介護勘定

種 別		数量	金額又は価格	備 考
準備金	金員	銀行預金	42,736,171 円	定期預金
		決算残金処分	55,394,419 円	
		計	98,130,590 円	